

報告・連絡・相談 研修講座

○セミナーのねらい

チームの一員として周囲と信頼関係を築くうえで、適切なホウ・レン・ソウは欠かせません。本研修では、その目的や意義を理解し、「報告」「連絡」「相談」それぞれのポイントや伝え方を習得します。ケーススタディやロールプレイングを通じて実践的に学んでいただきます。

- ① 社会人としてホウ・レン・ソウの重要性を理解し、目的や意義について理解する
- ② ホウ・レン・ソウを行う際、具体的にどのようなポイントに留意すべきか考える
- ③ ワークやロールプレイングを通じて、現場で明日から使えるホウ・レン・ソウの仕方を習得する

主催 (一社)石川県経営者協会

日時

令和8年4月21日(火)

9時30分～16時30分

会場

石川県地場産業振興センター

本館3階 第3研修室

金沢市鞍月2丁目1番地(裏面参照)

講師

株式会社インソース 講師

対象

若手・中堅社員

定員

30名

内 容 (個人ワーク、グループワークあり)

1. はじめに

2. ビジネスパーソンにおける情報の取り扱い方

- (1) ビジネスには「情報」が欠かせない
- (2) 相手の立場で、「情報」の価値を考える
- (3) 情報のやり取りで、ビジネスパーソンとして信頼を得る

3. 新人・若手に求められる3つのスキル

- (1) ビジネスパーソンに求められる「ホウ・レン・ソウ」
- (2) 「報告」「連絡」「相談」それぞれの違い
- (3) ホウ・レン・ソウの目的と意義
- (4) ホウ・レン・ソウするかどうかの判断基準
- (5) 大事ななのは自分から情報を収集すること

4. 報告する

- (1) 新人・若手に求められる「報告」
- (2) 悪いことこそ早く伝える

- (3) 伝え方～相手の立場で考える

- (4) 困った時は「クッション言葉」

- (5) こんな時どうする～報告の手段を考える

5. 連絡する

- (1) 報告と連絡の違い
- (2) 利害関係者を思い浮かべる
- (3) 連絡をする際の注意点

6. 相談する

- (1) 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
- (2) 相談の前にはすること
- (3) 成長とともに変えていく相談の仕方
- (4) 相談の後には、必ず感謝を伝える

7. 報告・連絡・相談は組み合わせて実施する

- (1) 「報告」「連絡」「相談」は組み合わせ
- (2) 相手に伝える際は、細分化する

8. まとめ